



[M.M.さんの巻 全編 (S.15年生れ 男 慢性C型肝炎 大阪府在住)]

<もともとはすこぶる健康体だったのでしょうか？>

ええ、元気者の医者要らずでした。23歳のとき運転免許を取り、仕事上車の運転に従事することが多くなり、対人関係や暴飲過食、ストレスなどで健康に‘赤信号’が見え隠れするようになってきたのです。それが、26歳の時ついに肝臓病に倒れ6ヶ月ほど入院しました。そこで一旦治ったと思っていたのですが、一度キズを持つとどうかした時に調子が悪くなります。35歳の頃には、「慢性肝炎」と診断を受け、ブドウ糖点滴注射をうけるのが常態化していたのです。仕事盛りの年代でハツラツとしているべきところが医者通いに追われているなんて、情けない思いでした。健康には気を配った生活を行うようにし、肝臓に良いといわれれば漢方薬や健康食品、サプリメントなど何でも試してみました。考えてみると、そんな20年間に費やした費用は医者代を含めて約3000万円にものぼり、それらが全部私の体の中で大小便にと変わって消えてしまったのです。それで良くなるのならまだしも、結局56歳の時に糖尿病と診断されインシュリンを開始するハメとなり、その1ヶ月後の血液検査ではC型肝炎ウィルスが見つかったのです。なんら有効な手だてもないままに、次第に病魔は進行しついに糖尿病の合併症が現れ出し、C型肝炎ウィルス量が増加し始めてきたのです。ガックリきたのは言うまでもありません。



<持ち前の負けん気が最終的に甲田医院に結びついたのですね。>

何か方法がないものかと探していたのです。もちろん最初にC型肝炎の情報を色々調べてみました。そうしますと西洋医学で治る確率は2~30%、しかもC型にもいくつかのタイプがありどうも私ののは治らないと感じたのです。余命は最悪2~3年.....「死」が急に目前に近づいて来たのです。肝臓が治らないまでも、せめてもう少し長く、心静かに人生を終える手立てはないものか？強気と弱気が交錯する。そうした頃、知人の誘いを受けて、とある講演会に出かけることになったのです。平成11年5月、講師は甲田光雄。講義の内容によると、それまでやってきたこととは全く異なる治療法です。色んな努力を惜しまなかったにもかかわらず私が治らなかった理由が妙にうなずけるではありませんか。私は思わずその場で先生に「私のようなケースでも治りますか」と質問しました。「100%絶対治りますよ」その力強いお言葉がなんと嬉しかったことが、今も心に響いています。厳しい道ですが腹は決まりました。

<生菜食Aと西式健康法でしたねえ。その決心がまなざしに現れていたのが印象的でした>

それまで仕事上では幾度となくピンチを潜ってきた私だ、きっとやれると自分に言い聞かせては療法に入ったのでした。内容は、朝食抜きの二食で一食当り青菜5種類以上を合計250g、大根100g、人参120g、山芋30g、生玄米80gを夫々ミキサーやおろし金で搗って食べます。生水と柿茶®を一日6~8合。その他スイマグ、裸療法、温冷浴、西式運動(金魚、毛管、合掌合蹠)でした。食事はまずくて栄養素中、蛋白質が少ないため肝臓には過酷なもので、予想通りみるみる体重が減っていきました。最初はとてもじゃないがのどを通らず、四苦八苦しなながら1時間ほどかけて吐いては食べるの繰り返しでした。これからこの温かみのない食事を続けるのかと思うと情けなかったです。また、消化できていないのか下痢ばかりです。悪戦苦闘の末やがて体がこの療法に馴染むのに数週間かかりました。それとともにあれほど悩まされた疲労感、倦怠感が消えていき、睡眠時間が少なくともスッキリした目覚めとなり

ました。秋には自覚的にはもう病気が治って生まれ変わったと感じていました。表面的にはそうであっても、

平成	11.6	11.9	11.11	12.3	13.1	13.4	15.
GOT	180	65	35	100	70	30	
GPT	190	35	30	120	70	30	
HCVA	2400	36	26	1800	1300	20	
グリコH							

もちろん長年の病根が無くなった訳ではありません。甲田先生からはこれを三年間続けるようにと言われていたからです。三年後には私がすっかり健康を取り戻しているのか、それとも棺桶に入っているのか？ <生か死か運命は180度違っていますものね。興味深い(笑)>

平成11年はこうして希望と期待に終わったのですが、あまりの好調さの故つい油断があったのです。平成12年に入ってご指示以外の食べものに手が出てしまい、悪化の自覚のないままずっと続くうち、血液検査が悪くなりました。上の表のように3月にはウィルス量が一辺に上昇し、肝機能も低下したのです。これではいけないと思い返し、再びキッチリと食事を調えました。すると快調さが戻ってきます。身体は正直です。言い訳は通らないのです。でも一方ひとの食欲の根深さ、業の深さを改めて思い知らされたのがこの頃です。邪食の誘惑に悩まされたものでした。ようやく13年2月に踏ん切りをつけてもう一度きちんとやり直すべく甲田先生にご指導をお願いしたわけです。厳しい道は一直線には参りませんでしたが、なんとか後退せずに今日まで続いております。もちろん糖尿病のコントロールもしっかりと出来ております。「一か八か」の結果はご覧の通りです。なんとかやってこられた理由の一つには利かん気の私が素直に聞く耳をもてる人に巡り会えたことにあるでしょう。甲田先生は人生の恩師と考えています。運命の出会いでした。ヒトが変わるといえるのはこういうことか、近頃は肉体的には飢餓感が薄れてきて生気に満ち、性格がおとなしくなったと会社で他人が評します。排便とともに自分の中から宿業が消えていき、奥にあった天性が輝いてくる感じです。まさに不死鳥のごとく蘇ったというイメージです。

編集後記：お若い頃は意地っ張りで頑固であったようですが、ある意味で性格に偏りがあったが故に病気を招き入れたとも考えられます。でも一方その性格のお蔭でこうした厳しい療法をやり抜いてこられたのも事実です。狭き門を見つけられた‘縁’を思わせました

発行：山田健康センター

〒581-0869 大阪府八尾市桜ヶ丘2-76

電話 & FAX 0729-97-6177

営業日 月曜日～土曜日 AM9時からPM6時

耳 寄 り な お 得 情 報

西式健康機の中古品でした！SV - 機(整備済み) ¥90,000(配達料込

み)毛管運動(足棒毛管)、金魚運動、肩や腰、頭部など各種バイブレーションに...

.....毛管運動が主力の人にはうってつけの希少品

無農薬レモン(広島産)、有機にんじん(和歌山産)、野菜種入荷しました。

野菜汁や生菜食に好適。また春の野菜作りもこれからが種まき時期です。